

佐賀市部活動適正化モデル

佐賀モデル

がスタートします！

生徒が「より主体的に」
適切な時間で活動する
(週8時間程度)
新たな部活動に。



佐賀モデル（佐賀市部活動適正化モデル）とは？

中学生アンケート（R5.9月実施）で明らかになった実態と課題をもとに、部活動に参加している誰もが、楽しい／充実していると感じ、現在参加していない誰もがやってみたいと思える活動にするために、現在の学校部活動の質（主体性）と量（時間）の両面から見直すモデル事業です。

予測ができない不確かな時代においては、目標を設定する力や、その達成のために必要な行動力が求められます。部活動を通して、主体性を育むことを第一義とし、自己決定の機会を増やし、主体的に行動を起こす経験を積むことを目指します。





どんなことをするのか？

生徒が「より主体的に」 「適切な時間」で活動する



STEP 01

生徒が「より主体的に」「適切な時間（週8時間程度）」で取り組む意義と効果について共通理解を図る。

▶ **ワークショップ1** 中学生・先生対象 生徒への事前アンケート実施。
50分程度のワークショップを開催。

STEP 02

生徒（子どもたち）主体で、取り組む内容を決定する。

▶ **ワークショップ2** （例）部内の役割、練習日数・練習時間、練習内容、休みの日等

STEP 03

生徒（子どもたち）主体で、実践する。

▶ **週当たり8時間で活動**

▶ **専門家による指導支援** （注）顧問はファシリテーター役で生徒主体の活動を見守ります。

STEP 04

成果と課題を検証する。

▶ **アンケートの実施・結果のフィードバック**

令和6年度は佐賀市内4校で実践がスタートします。

佐賀市立小中一貫校芙蓉校中学部

佐賀市立東与賀中学校

佐賀市立小中一貫校三瀬校中学部

佐賀市立諸富中学校

※11月以降も複数の学校で佐賀モデルに取り組む予定です。

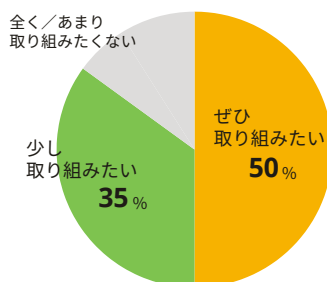
ー 7月中旬に生徒への説明会・対話型ワークショップを実施ー

7月10・11日は芙蓉中学校・東与賀中学校にて、外部講師も招いた説明会と対話型のワークショップを実施しました。

終了後のアンケート結果では、**85%以上**の生徒が「ぜひ取り組みたい」または「少し取り組みたい」と回答。

自分たち（生徒自身）で決めたいこととしては、「練習日数・練習時間」「休みの日」が多く挙がりました。

Q1 「佐賀モデル」について、
取り組んでみたいと思いますか？



Q2 部活動において、自分たちで決められるとしたら、何を決めたいですか？

